

科目名	地域・在宅看護概論	対象学年・時期	1年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	<p>日本の少子化と超高齢・多死社会における支援体制は、「共助」「公助」に頼ることなく「自助」「互助」に比重が置かれることとなる。病院中心、医療従事者主導の医療の仕組みが見直され、地域で「(看護が)ともに在る」ことを学ぶことが重要視されている。</p> <p>本科目では、地域で暮らす人々を支えるための看護者の役割を学ぶ。地域・在宅看護は、あらゆる年齢・環境・疾患の療養者を対象とする。「暮らし」や対象の暮らしの場である「地域」について考えることから対象の理解に繋げる。また、地域・在宅看護の概念や役割・機能、対象について学び、地域で暮らすことを支える看護の考え方の基礎を身につける。</p>		
授業形態	講義、グループワーク		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. その人(対象)が地域で暮らすことの意義を思考することができる 2. 人々の暮らしの拠点としての地域を理解することができる。 3. 地域・在宅看護が推進される社会的背景が理解できる 4. 地域で暮らす人々を支えるための看護者の役割を理解できる。 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回目：ガイダンス、地域・在宅看護論とは 2回目：「暮らしとは」を考える①…私の暮らし、他者の暮らしをみつめよう 暮らしを構成するものを探そう 私が考える「暮らし」とは ※グループワーク 3回目：「暮らしとは」を考える②…私が考える「暮らし」とは ※発表 4回目：「地域とは」を考える①…酒田市について知ろう 5回目：「地域とは」を考える②…データから酒田市を知ろう 6回目：地域・在宅看護論の変遷と社会的背景、包括ケアシステム 7回目：地域における看護活動の場と看護の役割 8回目：終講試験 		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア 第8版 石田千絵(編) メディカ出版		
事前・事後学修	必要時、授業中にお伝えします。 授業で学習したことは、授業後、教科書でも確認しましょう。		
評価基準および評価方法	筆記試験		
備考	自分の身近な物事に興味をもち、「暮らし」や「地域」を見つめてみましょう。 グループワークでは積極的に自分の考えを相手に伝え、相手の考えを聴きましょう。		

字体は MS 明朝

字の大きさは 10.5 ポイント

列の設定・余白は変えないでください